

令和4年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	1 1	議席 番号	1 4	氏名	佐野和彦 議員	1 / 1
発言項目				要 旨		答弁者
1	ファクトチェックと 感染症対策の行方			<p>3年目に突入したコロナ禍であるが、当初想定していなかった3回目のワクチン接種、ほごにされているように感じるワクチン接種の副反応、ウイルスの毒性が弱まってきていることを伝えないメディア及び現場の意見が通らない国の仕組みが、自治体を翻弄させている。市民の笑顔が一步遠のく環境下で、どのようにしたら現実を見据えた対策ができるか、自治体が国を動かすことができるか考えるべきだと感じる。事実をしっかりと認識し、正しい対処をすることが言われてきたが、現場の事実と国が示す理想のすり合わせをどのように考えるか以下伺う。</p> <p>(1) ここまで感染者が多くなってくると、濃厚接触者の特定は難しくなると感じる。県が出している感染情報を基に市がそれを伝えているが、ある程度場所等の特定がないと気を付けることもできない。情報発信の在り方をどう考えているか。</p> <p>(2) 3回目のワクチン接種が進む中、今までのワクチン接種で副反応が起こった方々の人数と、どのような方に起こりやすいか分析はできたのか。</p> <p>(3) 中和抗体があればワクチン接種を受ける必要がないと考えるが、なぜその検査をしようとししないのか。</p> <p>(4) 国の方針と現場の判断が乖離する場合、現場である自治体が国を動かさないといけないと考えるが、その方法はあるのか。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 病 院 長 関 係 部 長
2	公共放送と同報無線 の在り方			<p>昨年、富士宮市議会では不名誉な事件が起き、私自身も市民の皆様にも多大な御迷惑と御心配をかけたと認識している。しかし、公共放送を使った市議会への誹謗中傷とも取れる市長のメディアでの発言や、テレビや新聞等でも公表している新型コロナウイルス感染症の情報について、今もなお同報無線を利用し、長い話を放送する理由はどのようなことか伺う。</p> <p>(1) 市長の発言について、昨年9月の一般質問で渡辺佳正議員の発言にもあったが、一個人の発言ではなく、公共放送で市長という立場であるような発言をしたのはなぜか。</p> <p>(2) 首長による新型コロナウイルス感染防止啓発の在り方が問題になっている。最近では静岡市長の啓発方法が問題視されているが、同報無線での須藤秀忠市長の放送はいつまで続くのか。また、売名行為や職権の濫用にもとれるが認識を伺う。</p>		市 長 副 市 長 関 係 部 長